

12/19 五社

コロナに苦悩

東京商工リサーチが17日発表した新型コロナウイルスに関するアンケート調査結果によると、廃業を検討していると答えた飲食店が32・7%に上りました。前回の11月調査から9・3%増えました。回答した飲食店は61社と少ないものの、感

飲食店の3割 「廃業を検討」

拡大の「第3波」に直面した経営者が事業継続で苦悩している実態を浮き彫りにしました。中小企業8056社のうち廃業を検討していると答えたのは8・0%で、4割が1年以内に検討すると回答しました。大企業（1615社）で廃業検討と答えた割合は0・7%にとどまりました。

業種別では飲食店のほか、「宿泊業」「道路旅客運送業」など4業種で廃業検討と答えた割合が2割台に達しました。いずれも個人が顧客で、消費低迷が直撃しています。

調査は今年11月9日、インターネットで実施。全体で1万657社から有効回答を得ました。